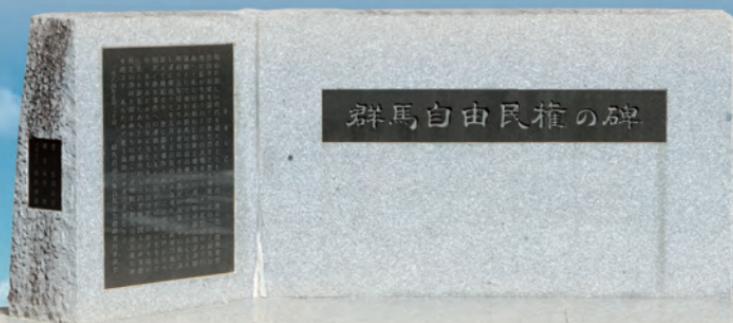


ぐんまの
自由民権運動

石原征明
岩根承成 著



みやま文庫

はじめに

一〇年ほど前、みやま文庫から群馬県の自由民権運動に関する本を出そうではないかという話が編集委員会できとり上げられた。この時は、自由民権運動については別の出版社から出されるということから、沙汰やみとなった。

今度、久しぶりに自由民権運動に関する本をまとめた形で出版することになった。担当は、自由民権運動に関する研究を長く続けている岩根承成と石原征明である。これまで振り上げていた拳をようやく下ろせることになり、ほっとしている。

群馬の自由民権運動については、多くの人が関わり、業績を上げている。萩原進氏、福田薫氏、清水吉二氏、藤林伸治氏、丑木幸男氏などの諸先達である。岩根承成、石原征明もある程度の研究の蓄積がある。このたびは諸先達の研究に導かれながら、われわれ兩人も最大の力を発揮して、できるだけ読みやすく分かりやすい「ぐんまの自由民権運動」を書くことにした。

自由民権運動が起つてから、一四〇年ほど経とうとしている。自由民権運動は、民主主義の世の中をつくろうとした運動の源流である。この時期にもう一度振り返り、先人の努力をかみ締めたいと思う。

目次

はじめに

一 自由民権運動とは

石原 征明

二 群馬に自由民権運動おこる

石原 征明

- (一) 各地に民権政社が設立される……………七
- (二) 政談演説会開かれる……………一六
- (三) 国会開設請願運動展開される……………三三
- (四) 上毛自由党と上毛協和会……………三六
- (五) 県会での民権運動……………三三

三 農村の不況と農民騷擾

(一) 岩根 承成
(二) 石原 征明

- (一) 松方財政と農村不況……………三七
- (二) 生産会社という名の高利貸的金融……………四一
- (三) 生産会社と農民の負債……………四七
- (四) 県内各地の明治十六年「負債農民騷擾」の背景……………五〇
- (五) 明治十六年三月の「負債農民騷擾」……………五三
- (六) 明治十六年十一月・十二月の「負債農民騷擾」……………五九

四 上毛自由党の明治十七年の動向―農民組織化への動き― 岩根 承成

- (一) 減租請願集会の「上毛農民懇親会」……………六七
- (二) 西上州における「党勢拡張」の動き……………六九
- (三) 一ノ宮光明院における「自由政談演説会」……………七〇

五 群馬事件の実像にせまる

岩根 承成

- (一) 「群馬事件」とは……………七三
- (二) 『東睡民権史』の描く事件像……………七七
- (三) 地元の行政史料にみる事件像……………八二
- (四) 地元の警察史料にみる事件像……………八四
- (五) 菅原村戸長の『始末書』にみる参加者の出で立ち……………八五
- (六) 裁判史料にみる事件像……………八七
- (七) 新聞記事史料―『郵便報知新聞』―……………九三
- (八) 群馬事件を考える……………九五

六 秩父事件おこる

(五) 石原 征明
岩根 承成

- (一) 秩父燃ゆ……………九九
- (二) 秩父事件と群馬県農民の動き……………一〇八
- (三) 秩父事件における群馬勢の動向と組織化……………一二六

(四) 群馬県下各地の状況	三三
(五) 東毛における秩父事件同時蜂起	三六

七 その後の自由民権運動

石原 征明

(一) 大同団結運動・三大事件建白運動	四一
(二) 群馬県の動き―上毛倶楽部―	四三
(三) 上毛民会・上毛同志会・群馬公議会のめまぐるしい動き	四四
おわりに	四七
参考文献	四九
群馬の自由民権運動関係年表	五五